

宣 言

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会は、平成二十一年の発足から七年目に入り、県内外から一〇九人が参加して第七回研究発表会を開いた。

テーマは「龍馬生誕一八〇年・原点再考」。憲法や自衛隊をめぐる政府が強権を振るい、時代が危機に陥ろうとしている今、命がけで平和と自由を追い求めた龍馬の生涯と思想に学ぼうとしたものだ。

ノンフィクション作家小松成美さんの講演を挟んで、地元高知と長崎、北海道の研究者六人の発表が行われ、私たちは多くのことを教わった。

再来年は龍馬暗殺一五〇年であり、龍馬記念館の新館構想も進んでいる。あらためて龍馬の「原点」に立ち返り、この国のあり方を考えていきたい。

平成二十七年五月二十三日

高知県立坂本龍馬記念館・現代龍馬学会

